



湘南櫻友会報

第3号 平成18年6月1日発行

発行責任者 竹内 猛
編集責任者 内海 孝夫
事務局 茅ヶ崎市中海岸 4-4-11
浦田憲一方

「形づくりと絆の強化を」

会長 竹内 猛(昭和33年政経)

湘南櫻友会は、今年、2期目に入ります。

前期は「友達の輪を広げ、絆を強くしていこう」で会の基盤づくりを図ってきました。お陰様で今日を迎えることが出来、ご同慶にたえません。ところで、本会の企画は幹事会が決め、これを事務局が中心となって運営実施する事は、皆様ご存じのとおりです。大変なのは幹事長さん。それは同一人物が企画立案者であり、実施責任者(＝事務局長)であるからです。そのご苦労の緩和を図る為、昨秋より幹事の中から2名の方(北村紀子氏・番場康之氏)に事務局次長をお願いし、会の運営改善にご努力頂いております。この辺りを皆様方もご理解賜り、事務局への一層のご協力をお願い申し上げる次第です。

さて、今年は役員改選期ですが、第2期も湘南櫻友会の基盤固めが大切な期と考え、「輪を広げ、絆を強くする」事業活動を続けようということで、全役員の留任を提案し、役員会の賛同を得ることが出来ました。更に、次期への新風も必要であり、肌理細かい広報活動や同好会その他活動のこともそろそろ考えなければならない時期なので、幹事2名を増員し、次の段階に備えることに致しました。候補者は、若くフレッシュな感性をお持ちの方々なので、就任後のご活躍を期待しております。

いずれにしても今期は、土台建設に併せて、新しい方向を模索するときでもあります。そう沢山のことが出来るわけではありませんが、この会らしきが出るようにと役員一同頑張る所存です。会員の皆様、応援を宜しくお願い申し上げます。

最後に、学校や本部への協力は惜しみませんが、先は会費を払い、この地で生活している同窓生の皆様のために、ここで生きている喜びや楽しみなど、何かお役に立つことをするのがこの会の使命だと、私は考えていることを申し添え、ご挨拶とさせていただきます。(第3回総会挨拶要約)

＜私の近況＞

事務局次長 北村紀子(昭和37年短大)

私は、2年しか学習院生ではなかつ

たのですが、それまでの都立男子高校の高校生活とは全く異なる“学習院ならではの”の体験を致しまして、私の中で学習院は、大きな存在



となりました。現在、私は櫻友会で一つのお役をさせて戴いておりますが、そんな折、高沢 寛監事のお誘いで、湘南櫻友会の発足に参加させて頂き、何のお役にも立てないまま、いろいろな行事に参加し楽しんでまいりました。

また、地元茅ヶ崎市で、認知症の方を家庭で介護している介護者を支援する創立20年を迎えたボランティアグループ“にこにこクラブ”に所属し会長をお引き受けして、5年目になります。介護保険が導入され、痴呆症から認知症と名称も変わり、大分世の中に広く知られる様になりましたが、家族の一人が認知症になってしまった時、家族に大きな負担がのしかかってくるのを目の当たりにし、出来るだけ負担が軽くなる様なお手伝いが出来たら・・・と活動を続けています。当会も前事務局長、間宮さんの急逝という大きな悲しい出来事がありましたが、皆様のお力により順調に3年目を迎えております。微力ながらこれからも会の発展の為に、お手伝いをしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

～環境問題を考えよう～

幹事 西沢重篤(昭和36年政経)

平成17年12月「湘南櫻友会クリスマス年忘れ懇親会」のDテーブルで同席となったメンバーが中心となって、



「環境問題を考える会」を発足させ、早速1月22日に藤沢小学校の「生ごみ堆肥化事業」を、活動の中心となっている櫛原さん(58年大学院)と

板原さん(54年文学)の両名に案内して頂きました。この事業は1999年11月から現在(2006年1月)迄約75トンの給食生ごみを処理して17トン余(23%)の肥料にして花壇や菜園等に活用されています。管理は投入、取出し、肥料配布作業等住民ボランティアスタッフが交代で行い、参加者や地域の人とのコミュニケーションの場にもなっており、藤沢市の環境負荷軽減に寄与し、実践モデルとしても評価されています。 櫛原、板原さんから、この事業が子供達の環境教育の場として有効に活用され地域の関心と自治意識を高め、循環型社会へ向けたまちづくりにつながって来ているので、今後の継続と段階的な拡大が必要であり、市民と行政が役割分担を考えながら“協働”できるかが課題と聞きました。見学後、メンバーの感想は「ボランティアで続けている事は凄いパワーだ」、「勉強会は続けたい」等で、2人の素晴らしい活動にエールを送り「自分達にできる事は実践しよう」と協働“の課題を持って散会しました。

～第3回総会・懇親会の報告～

5月13日(土)に54名出席のもと平成17年度事業報告と決算及び18年度事業計画と新役員人事(含新任役員2名)が満場一致で承認され、引き続き小野ご夫妻によるオカリナと腹話術を楽しみながらの懇親会が催されました。尚、来賓は内藤院長代行、亀井櫻友会会長ほか3名の方々でした。



| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 前期繰越金 | 464,488 | 第2回総会・ | |
| 年会費収入 | 366,000 | 懇親会費 | 405,461 |
| 第2回総会・ | | 事務用品費 | 71,996 |
| 懇親会収入 | 512,000 | 通信費 | 130,495 |
| お祝い金 | 50,000 | 印刷費 | 17,300 |
| 事業収入 | 63,515 | 繰越金 | 919,334 |
| 寄付金 | 166,983 | 慶弔費積立金 | 78,400 |
| 合計 | 1,622,986 | 合計 | 1,622,986 |

<会員の紹介>

副会長 田村太郎 (昭和35年政経)

私は富山市で誕生し、終戦後の昭和21年東京都大田区山王に居住後、山王小学校を卒業し、麻布中学、高校を経て昭和31年学習院大学政経学部経済学科に入学致しました。大学では玉野井ゼミに所属し、ケインズ経済学を学んだ事から金融業に興味を持つようになりました。そして、卒業後日本の金融事業で非常に知名度が低かった生命保険会社(三井)に入社致しました。在職中にはニューヨーク事務所長を5年弱経験し、その間米国の生保事業のみならず倫理を含めた子供教育を勉強させられました。帰国後米国エクイタブル生命に転職し、その後アクサ生命設立に主役を果たしました。又、学生時代から三井生命在職中も庭球部に所属し、あの有名な宮城選手との試合が懐かしい思い出となっております。現在家内は庭球を楽しんでおりますが、私はゴルフで大変苦しい経験を強いられております。



～平成17年度(後半)事業報告～

*12月22日(木) クリスマス年忘れ懇親会

後藤朋子さん(国立音大卒)のフルート演奏の中、家族同伴者を含め54人のご参加を頂き、楽しい一時を過ごす事が出来ました。

*2月10日(金) 参加者10人で、鎌倉「東慶寺」安倍能成先生の墓参、観梅と座禅体験をしました。

～平成18年度事業計画予定～

*7月30日(日) 地引き綱大会

*9月中旬・・・ バーベキュー大会

*9月30日(土) 湘南SUC懇親会

*10月28日(土) 18年度学習院公開講演

*11月末・・・ 鎌倉名所、旧跡散策

*12月 9日(土) クリスマス・忘年れ懇親会

編集後記 <http://www.oh-you-shonan.com> の

ホームページを湘南櫻友会で開設しましたので、投稿をお願いします。詳細は櫻友会HP(全国支部便り)をご覧ください(編集担当 櫛原、品川、吉田)